

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（平成28年1月7日現在）

1号機 沸騰水型 (35万7千kW)	平成27年4月27日廃止* ¹ 第33回定期検査中* ² 平成23年1月26日～未定
2号機 加圧水型 (116万kW)	第18回定期検査中 平成23年8月29日～未定

() 内は定格電気出力

*1:平成27年3月17日に経済産業省へ廃止に係る届出を提出した。

*2:法律上、定期検査は廃止措置計画の認可を受けた日をもって終了とみなされる。

<新規規制基準適合性審査に係る申請状況>

	申請	申請日	補正日	許認可日
2号機	原子炉設置変更許可	H27.11.5	—	—
	工事計画認可	—	—	—
	保安規定変更認可	H27.11.5	—	—

2. 故障等の状況について（平成27年12月5日～平成28年1月7日）

(1) 法律に基づく報告事象

なし

(2) 安全協定に基づく異常時報告事象

なし

(3) 保全品質情報等

①敦賀1号機 タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管からの水漏れについて

平成27年12月9日11時00分頃、敦賀発電所1号機のオフガス配管トンネル内※(管理区域内)で作業員が、タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管(以下「当該配管」という。)からの水の滴下(約1秒1滴)を発見しました。

現場を確認したところ、漏れ箇所は当該配管の壁貫通部近傍であり、配管外面に巻かれた防食テープを剥がした結果、全周にわたる腐食による減肉および、配管上部に穴が認められました。

床面への漏れ量は、約20cc、放射エネルギーは、約49Bqでした。

原因は、当該配管が貫通している壁面からの湧水が防食テープと配管の隙間に入りこみ、長期間湿潤環境となり外面腐食による減肉が進行し、穴があいたものと推定しました。

プラントの停止に伴いタービン建屋に設置されている主な機器は水抜きされており、タービン建屋機器ドレンサンプに水の流入はなく、同サンプおよび当該配管を使用しないこととしました。

なお、本事象による放射性物質の外部への放出はなく、周辺環境への影響はありません。

(別紙1参照)

3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について(平成28年1月7日現在)

(1) 建設準備工事

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化維持管理等の建設予定地の維持管理を継続して行っています。

(2) 仮設工事関係

現在、コンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

4. その他

(1) 敦賀総合研修センター平成28年度公開研修コースのご案内について

敦賀総合研修センターで平成28年度に開催する公開研修コースの参加募集のご案内を、1月中旬に当社ホームページに掲載します。

なお、公開研修コースは、福井県が進める「エネルギー研究開発拠点化計画」における取り組みの一つです。

(2) げんでんふれあいギャラリー催物のご案内について

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております>

① 「2015 福井県小・中学生科学アカデミー賞」優秀作品 敦賀展

「2015 福井県小・中学生科学アカデミー賞」(主催：福井新聞社)の優秀作品に選ばれた18点の展示や、表彰式で行われた最優秀作品の研究発表の様子を動画(パソコン)で紹介しています。(12月22日～1月10日)

②第3回 楽彩展 楽しく思うがままに描こう！！

高村 恒子 様、福谷 隆子 様、杉田 ^{もり}司子 様の3名による3回目の楽彩展です。ハガキ絵(水彩)、静物・風景(水彩・アクリル・油彩)等の作品を30点展示予定です。(1月12日～1月17日)

③第19回(平成27年度)小学生人権ポスターコンテスト入賞作品展

県内の小学5、6年生対象の人権ポスターコンテスト(主催：福井地方法務局、福井県人権擁護委員連合会)の入賞作品展です。日常の家庭、学校生活等の中で得た体験を通じて、描かれた作品を41点展示予定です。

(1月19日～1月24日)

敦賀発電所 1 号機 タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管からの水漏れについて

平成 27 年 12 月 9 日 11 時 00 分頃、敦賀発電所 1 号機のオフガス配管トンネル内※（管理区域内）で液体廃棄物処理系配管修繕工事に従事していた作業員が、タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管（以下「当該配管」という。）からの水の滴下（約 1 秒 1 滴）を発見しました。

現場状況を確認したところ、漏れ箇所は当該配管の壁貫通部近傍であり、配管外面に巻き付けられていた防食テープを剥がした結果、全周にわたって腐食による減肉が生じており、配管上部に穴（約 3.7mm×約 5.4mm）が認められました。その後、補修材による応急補修を行い漏えいを止めるとともに、配管内の水抜きを実施しました。

床面への漏れ量は、約 20cc（約 20cm×約 10cm×深さ：約 0.1cm）、放射エネルギーは、約 49Bq でした。

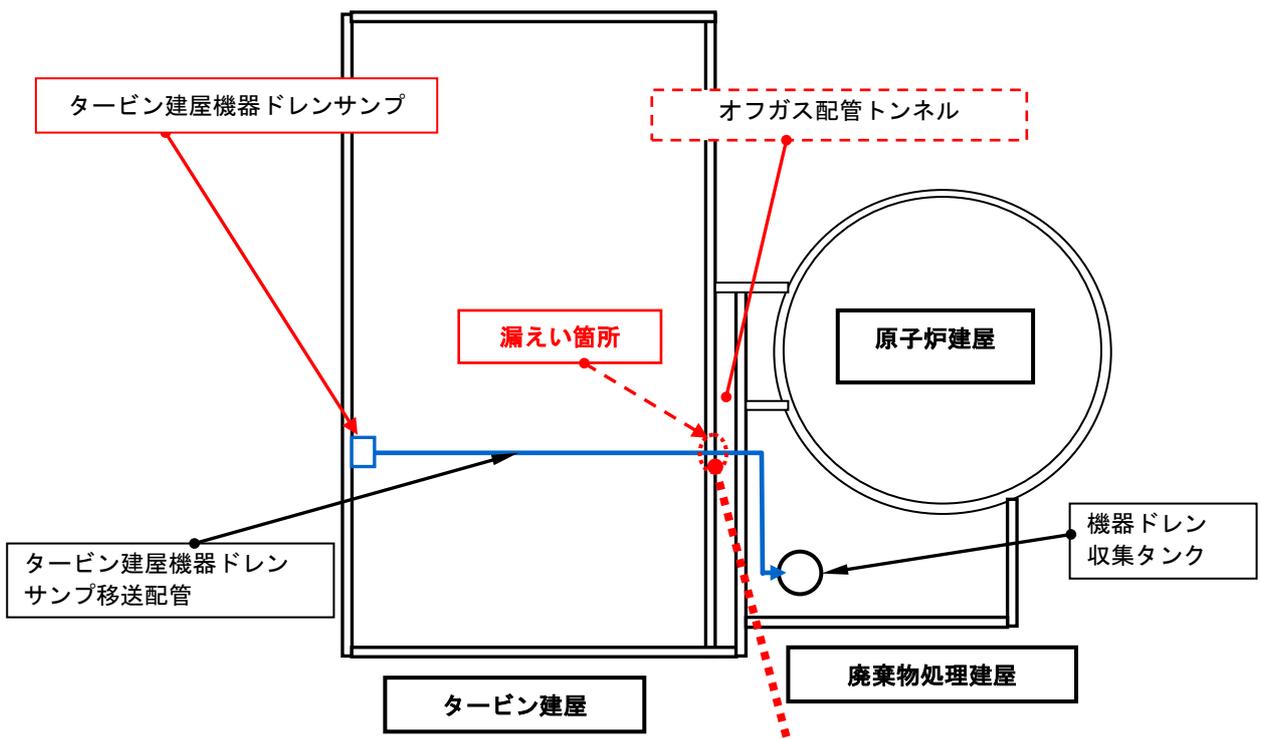
原因を調査した結果、当該配管が貫通している壁面からの湧水が防食テープと配管の隙間に入りこみ、配管外面が長期間湿潤環境となり外面腐食による減肉が進行し、穴があいたものと推定しました。

プラントの停止に伴いタービン建屋に設置されている主な機器は水抜きされており、タービン建屋機器ドレンサンプに流入するドレン水はないことから、同サンプおよび当該配管を使用しないこととしました。

なお、本事象による放射性物質の外部への放出はなく、周辺環境への影響はありません。

※オフガス配管トンネル：復水器の排気を気体廃棄物処理系へ送る放射性気体廃棄物配管が通るトンネル。

タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管配置図



タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管の状況

- 【タービン建屋機器ドレンサンプ移送配管仕様】
- ・配管外径：約 60 mm
 - ・材 質：炭素鋼
 - ・公称肉厚：約 4 mm

